

文部科学省共同利用・共同研究拠点／大学共同利用機関 「発達・社会性研究 4 拠点連携シンポジウム」

2022年7月29日（金）に文部科学省共同利用・共同研究拠点に認定されている私立大学3拠点（玉川大学社会神経科学研究拠点、同志社大学赤ちゃん学研究拠点、昭和大学発達障害研究拠点）、大学共同利用機構である自然科学研究機構生理学研究所の4拠点間の相互理解を通じて共同研究のシーズを発掘する目的でシンポジウムが開催されました。前回のシンポジウムに引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため本シンポジウムもオ

ンラインでの開催となりました。

今回のシンポジウムでは各拠点の代表からそれぞれの拠点の説明が行われ、引き続き各拠点3名の研究者による社会性に関する研究発表が行われました。それぞれの拠点の強みを活かした最新の研究が紹介され、拠点間で情報の共有が行われただけでなく、具体的な共同研究への橋渡しになるシンポジウムとなりました。

（玉川大学脳科学研究所 松田哲也）

プログラム

1. 各拠点での社会性研究の特徴

自然科学研究機構生理学研究所
定藤規弘（生理学研究所）

昭和大学発達障害研究拠点
太田晴久（昭和大学発達障害医療研究所）

同志社大学赤ちゃん学研究拠点
板倉昭二（同志社大学赤ちゃん学研究センター）

玉川大学社会神経科学研究拠点
松元健二（玉川大学脳科学研究所）

2. 各拠点からの研究発表

自他の動作情報処理に関わるサル大脳皮質ネットワークの解明
二宮太平（生理学研究所）

動的顔表情の知覚に関わる脳内情報表現
青木隆太（昭和大学発達障害医療研究所）

対人印象における引き込み現象が与える影響について

加藤正晴（同志社大学赤ちゃん学研究センター）
唾液からのオキシトシン濃度の測定
寿 秋露（玉川大学大学院脳科学研究科）

視線を介した共同注意の神経基盤と hyperscanning fMRI の技術的部分
小池耕彦（生理学研究所）

脳画像から見る発達障害の異同
板橋貴史（昭和大学発達障害医療研究所）

保育における集団活動と音環境
嶋田容子（同志社大学赤ちゃん学研究センター）

高齢者の健康状態の個人差に基づく MR 技術を活用した歩容補正手法の提案
武藤ゆみ子（玉川大学脳科学研究所）

言語を介した経験共有の神経基盤
吉岡 歩（生理学研究所）

側頭頭頂接合部（TPJ）の因果的機能連関

中村元昭（昭和大学発達障害医療研究所）

乳幼児と医師の関係性

渡部基信（同志社大学赤ちゃん学研究センター）

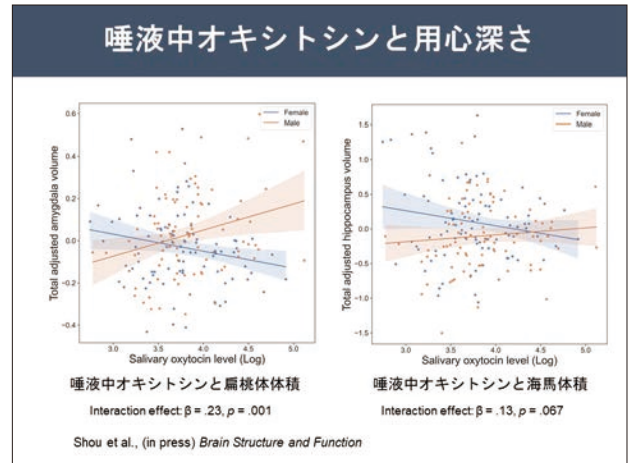
社会的シグナルの相互学習

鮫島和行（玉川大学脳科学研究所）

社会性研究 4拠点連携シンポジウム

唾液からのオキシトシン濃度の測定

寿 秋露 (Qiulu Shou)
 玉川大学大学院脳科学研究所 D3
 日本学術振興会特別研究員



社会的シグナルの相互学習

玉川大学脳科学研究所
 脳システム研究センター
 鮫島和行

